交付金の見直しにより懸念される影響（農産WG）

	見直し期間中		見直し後
	R４	R５～８	R９～
国	地域課題の把握、検証 →	→ 反映	■新制度運用
地域	現行ルールの再徹底 今後の産地形成をどのように図っていくか、しっかりと検討	地域の水田農業の将来方向を明確化	
地域における影響	地域課題の把握（随時） ○ **水稲及び畑作、園芸作物生産への影響** （声）生産性を維持するためには５年を超えるブロックローテーションのスパンが必要。 （声）ブロックローテーションによって米の食味低下が心配。 （声）生産の目安を超える作付となり米価の下落を懸念。 など ○ **水田作経営への影響** （声）畑地化して交付金がなくなると経営が成り立たなくなる。 （声）高収益作物に取り組みたいが労働力が足りない。 など		
今後の取組方向	◆**明らかとなった課題を地域が解決していくために必要な検証を行い対応方向を検討** （例えば） 検証の結果、畑作経営や園芸作経営と比べ単収が低いことが判明した ⇒　単収を上げるための支援方策を検討 ◆**地域に検討を促すにあたり求められるであろう北海道全体の方向性を整理するために必要な事項を検討** →　ブロックローテーションが行われている実態や背景等を把握して、国の検討の俎上に載せるべき地域課題を整理	地域における課題解決に向けて ➢ **国に対し提案・情報提供** ➢ **地域に対する技術支援・情報提供**	